

CHOP【3週毎/血液】療法

注射薬

投与順序	外観	お薬の名前	お薬のはたらき
1		アチ静注+デキソ注	副作用・吐き気を予防するためのお薬です。1日目に投与します
2		オビ注	治療の為のお薬です。約3分かけて投与します。
3		ドキシの塩酸塩注射用	治療の為のお薬です。約3分かけて投与します。
4		インド注注射用	治療の為のお薬です。約30分かけて投与します。

内服薬

投与順序	外観	お薬の名前	お薬のはたらき
1		プレドニ錠	治療の為のお薬です。2日目から服用し、飲みきってください。
2		レボフロキサシ錠500mg	抗生剤です。食事に関係なく、発熱時(37.5度以上)服用開始。飲み始めたら同じ時間に3日間服用して下さい。

飲みきっても発熱が持続する場合は、すぐに受診して下さい。

投与スケジュール

薬品名	日数																												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
オシロイシロイ1mg	↓																												
ドキシルビシン塩酸塩注射用	↓																												
インドキサト注射液	↓																												
プロトン錠		○	○	○	○																								

投与間隔：3週間

プロトンは2日目から内服開始し、飲みきり終了。

CHOP療法【3週毎/血液】

よく起こる副作用

★尿の着色

発生時期 薬剤投与日～2日目位まで

症状 ドキソリビシン注の赤い色が尿に出ることがあります。

対処法 通常2日以内に元にもどります。ただし痛みをとまなう時はすぐ医師や看護師、または薬剤師に相談して下さい。

★悪心・嘔吐および食欲不振

発生時期 薬剤投与日～5日目位まで

※まれに、以前の化学療法後の嘔吐の体験が影響し、点滴の数日前からおこるものがあります。

症状 食欲が落ちたり、味覚の変化、においに敏感になったり、胃が重たく感じたりします。ときどき吐くこともあります。

対処法 ○治療の前に吐き気止めの注射を行います。症状によっては吐き気止めの内服薬を服用することもあります。
○脱水をおこさないように水はこまめにとるように心がけましょう。
○吐き気があるときは無理して食べる必要はありません。口当たりのよいものを少量ずつとりましょう。
○吐き気が強く食事できないときは、栄養や水分を点滴で補給することもあります。
○事前に吐き気止めの薬を点滴あるいは服用します。症状がでた後に、吐き気止めの薬を追加することもできます。

★骨髄障害

発生時期 薬剤投与日から7～14日に減少します

症状 骨髄には造血細胞と呼ばれる白血球(細菌などから体を守る)、血小板(出血を止める)、赤血球(酸素を運ぶ)の元になる細胞があり、この造血細胞にお薬が作用して造血細胞に障害を及ぼすことを骨髄抑制(障害)といいます。骨髄抑制が起こると、白血球、血小板、赤血球の数が減少し、その働きも弱くなり、感染症や出血、貧血などの症状があらわれやすくなります。

<代表的な症状>

- 感染症:38℃以上の発熱・寒気・ふるえ・のどの痛み など
- 貧血:疲れやすい、めまい、立ちくらみ、動悸、顔色が青白い など
- 出血:紫斑(原因不明のあざ)、歯茎からの出血、鼻血、月経量の増加、血が止まりにくい など

対処法 ○感染対策で最もポイントとなるのは、患者様自身の感染予防のセルフケアと感染の早期発見です。感染症をおこさないように、人ごみを避け、こまめにうがい、手洗いを行いましょう。白血球は一時的に下がっても、その後回復します。
○貧血では症状の自覚のないまま、転んだりして事故を起こす危険もあります。日常生活では十分な休養をとりましょう。また、いきなり動かず、動き始めはゆっくりとするように注意して下さい。
○血が止まりにくくなることがありますので、かみそりや爪きりのような鋭いものを使用する際には注意して下さい。打ち身や切り傷を作るような行為や激しい運動は控えるようにしましょう。歯ブラシも柔らかいものを使いましょう。
○症状に応じて、薬剤の投与や、輸血をする場合があります。

★脱毛

★脱毛

- 発生時期** 治療開始日から2～3週間後に始まりますが、治療が終われば必ず生えてきます。
- 症状** 徐々に抜け毛が多くなり、2ヶ月以内でほぼ抜けてしまいます。場合によりまつ毛や体毛も抜けることがあります。
- 対処法** ○今のところ有効な防止策はありません。髪を短くカットされておいた方がよいでしょう。
○市販のウィッグやバンダナ、帽子などで、おしゃれを楽しむ気持ちをお持ちいただけたらと考えます。(ウィッグに関する資料については、看護師にご相談ください。)

★末梢神経障害（麻木感）

- 発生時期** 治療開始日から数週間後にあらわれることがあります。通常数コース投与後に発現することが多いです。
- 症状** 指先や足のうらがびりびりする、感覚がにぶくなる等の症状が起こります。手足に力が入らない、などの症状が現れることもあります。
- 対処法** ○転倒に注意しましょう。熱いものや刃物を扱うときにはけがをしないように十分注意しましょう。
○もしも、車の運転で不安なことが現れた場合は、運転を避けるようにしたほうが良いでしょう。
○日常生活に支障がでるほどの症状の場合は、がまんせずに主治医へ相談してください。

頻度は少ないが注意を要する副作用

★血管外漏出

- 発生時期** 薬剤投与中～3日目位まで！
- 症状** 薬剤が血管の外に漏れると、注射部位が硬くなったり、腫れて痛みを感じる場合があります。
- 対処法** ○針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みや腫れなどありましたら、すぐに受診してください。
○針を刺している腕を動かさないようにしましょう。

★出血性膀胱炎

- 発生時期** 薬剤投与日から2～3日目
- 症状** 排尿時痛、頻尿、血尿などの症状があらわれることがあります。
- 対処法** ○こまめに水分を取るようにし、トイレを我慢しないようにしましょう。
○上記の症状があらわれたときは医師、看護師、または薬剤師にお知らせください。

★心毒性（心筋障害、心不全）

- 発生時期** 薬剤投与日から1～数ヵ月後以内
- 症状** 手や足首のむくみ、息切れ、動悸、胸の痛みなどの症状があらわれることがあります。
- 対処法** ○上記の症状が出た時はすぐに医師に連絡し、指示に従ってください。

★消化器症状（オンコビン）

- 発生時期** 頻度不明
- 症状** 食欲不振、悪心・嘔吐、ひどい便秘、ひどい腹痛、腹部膨満、下血等がおこることがあります。
- 対処法** ○上記の症状があらわれたときは医師、看護師、または薬剤師にお知らせください。

その他の副作用

★その他

★その他

症 状	下痢、便秘、口内炎、倦怠感、色素沈着、味覚異常など
対 処 法	○症状により対症療法を行ないます。

副作用は薬剤ががん細胞を攻撃するときの一部の正常の細胞にも影響を与えてしまうことにより起こるものです。

もちろん正常な細胞は治療が終わればもとに戻りますし、副作用も少しずつ回復します。

副作用の出かたや、程度は個人によってさまざまであり、副作用の全てが現れるとは限りません。

大事なことは予想される副作用を十分理解し、その対処をすばやく行うことです。そして副作用があらわれた場合はもちろん、それ以外でも気になることがありましたらどんなことでも、主治医や看護師、薬剤師に相談して下さい。

医療法人敬愛会 中頭病院（薬剤部）

